



第6回地域フォーラム
吉野町発展ビジョン

～いのちが輝き笑顔あふれる吉野町～

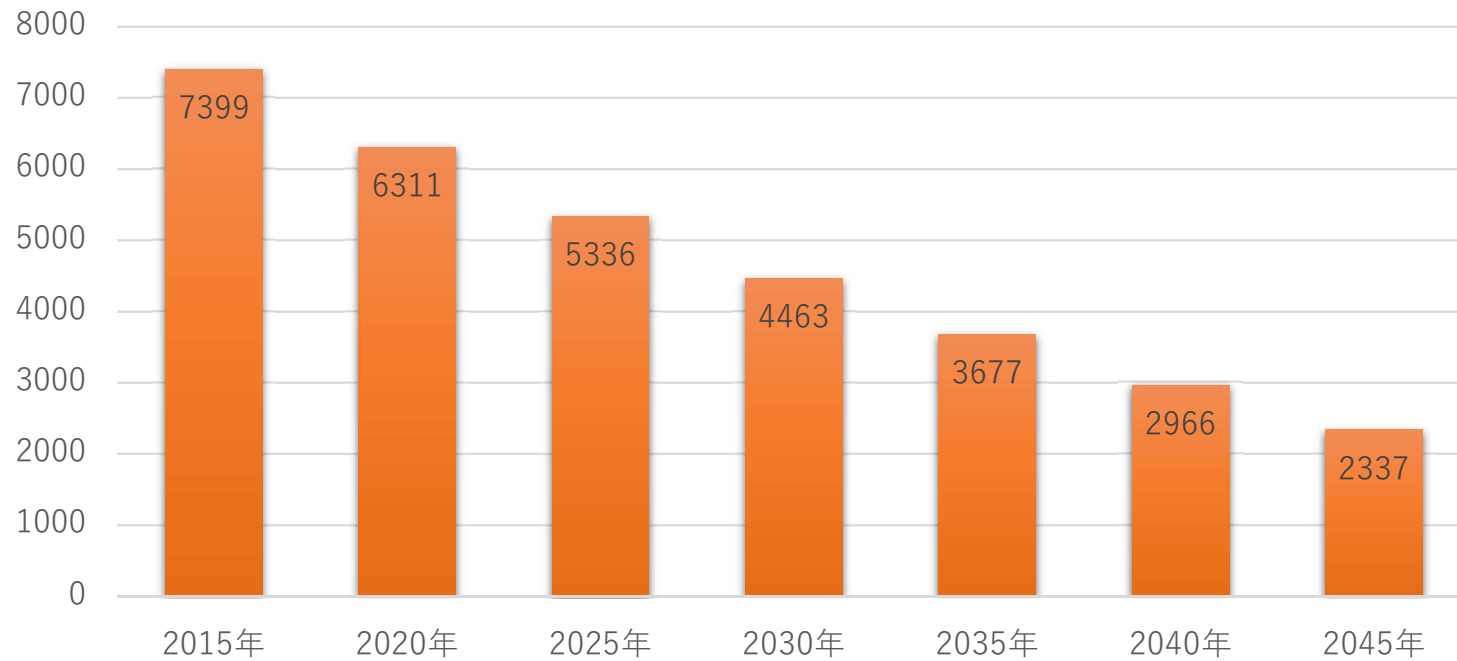
令和元年9月16日

吉野町長 北岡 篤

吉野町の現況

日本全国で中山間地域における少子高齢化は加速しており、
当然、吉野町においても人口減少は避けることが出来ない状況である。

吉野町の将来推計人口



(2015年は国勢調査による実績値)

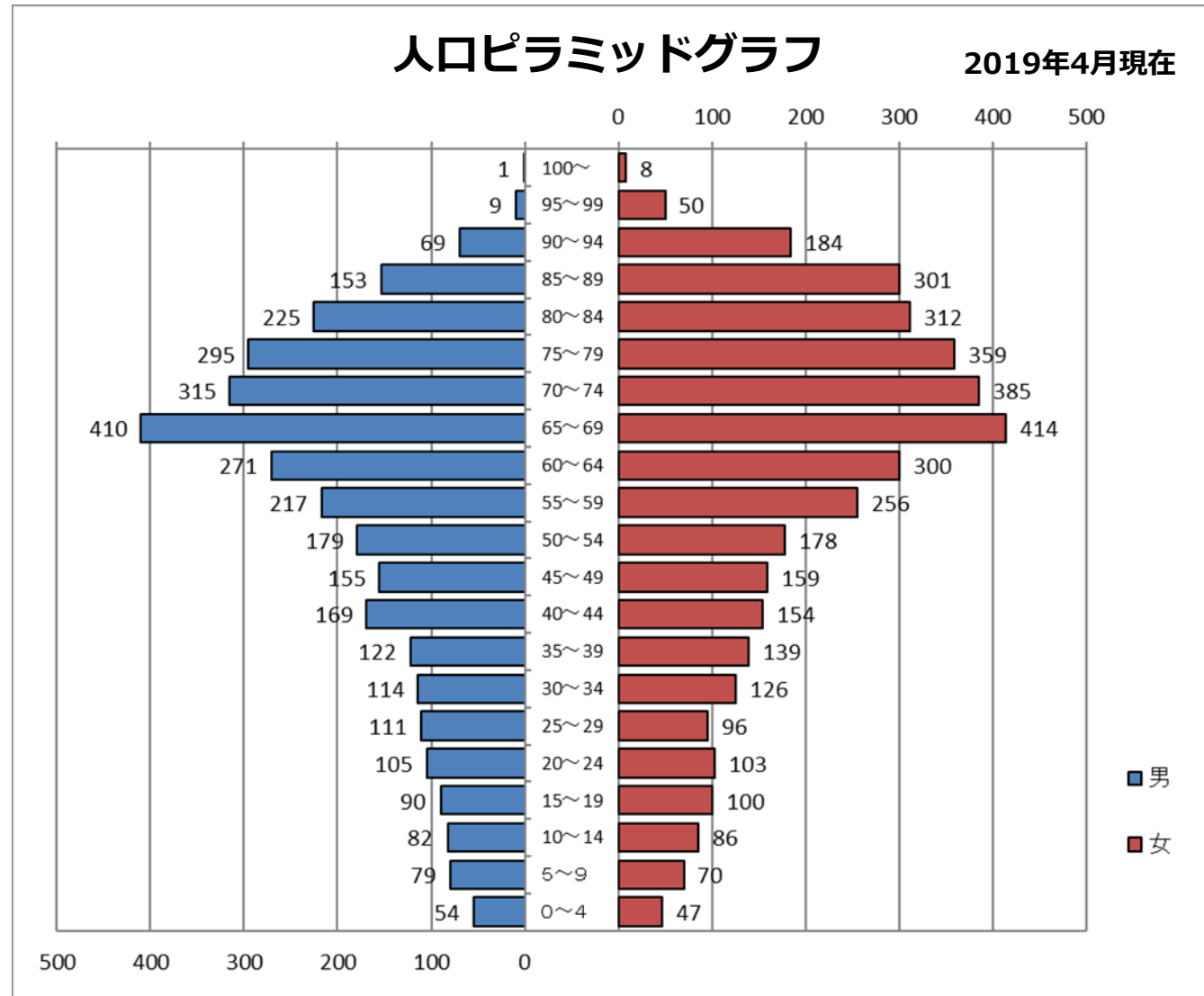
出所：国立社会保障人口問題研究所

吉野町の現況

高い
高齢化率

49.5%

60代～
70代の割合
が非常に高い



吉野町の方向性を示す

まちづくり基本条例	みんなで力を合わせてまちづくりを進めていくために、吉野町のまちづくりの仕組みを明確にする。
総合計画	基本構想に定める将来像の実現に向けた具体的な取り組みを定める。
まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少、少子高齢化社会への対応策を定める。

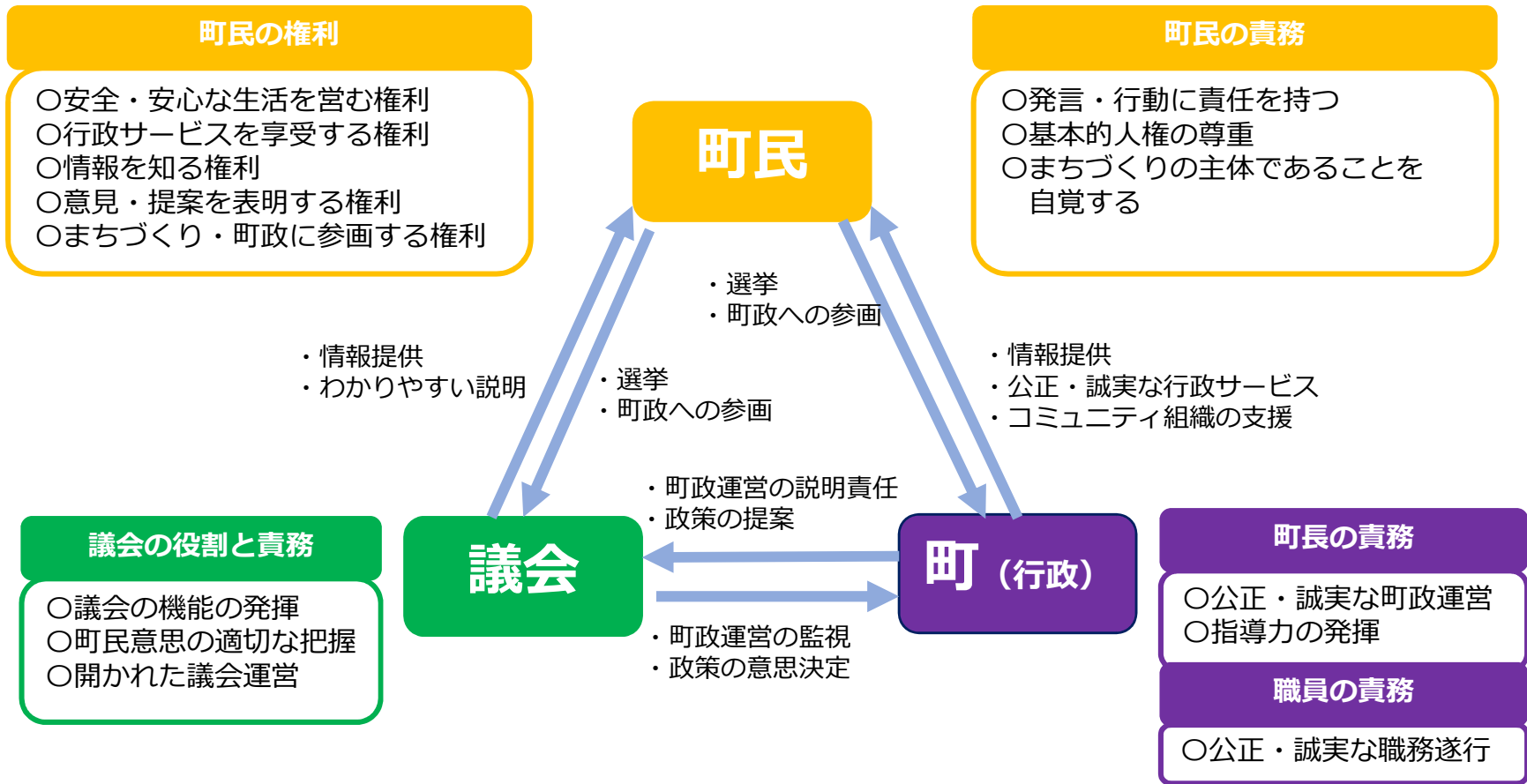
まちづくり基本条例・総合計画・総合戦略の関係

吉野町まちづくり基本条例、第4次吉野町総合計画、吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の相互関係性について以下の図のように整理している。



吉野町まちづくり基本条例（平成27年4月施行）

まちの将来を見据えた持続可能な吉野町をつくるために、「町民」「議会」「行政」が互いの責務と役割を果たしながら協働のまちづくりに取り組むための基本的なルールを定める。



まちづくり基本条例に基づく住民自治の動き

吉野町には **8** の旧小学校区があり、
その区域内で各 **1** の地域自治団体を
設立することができる。

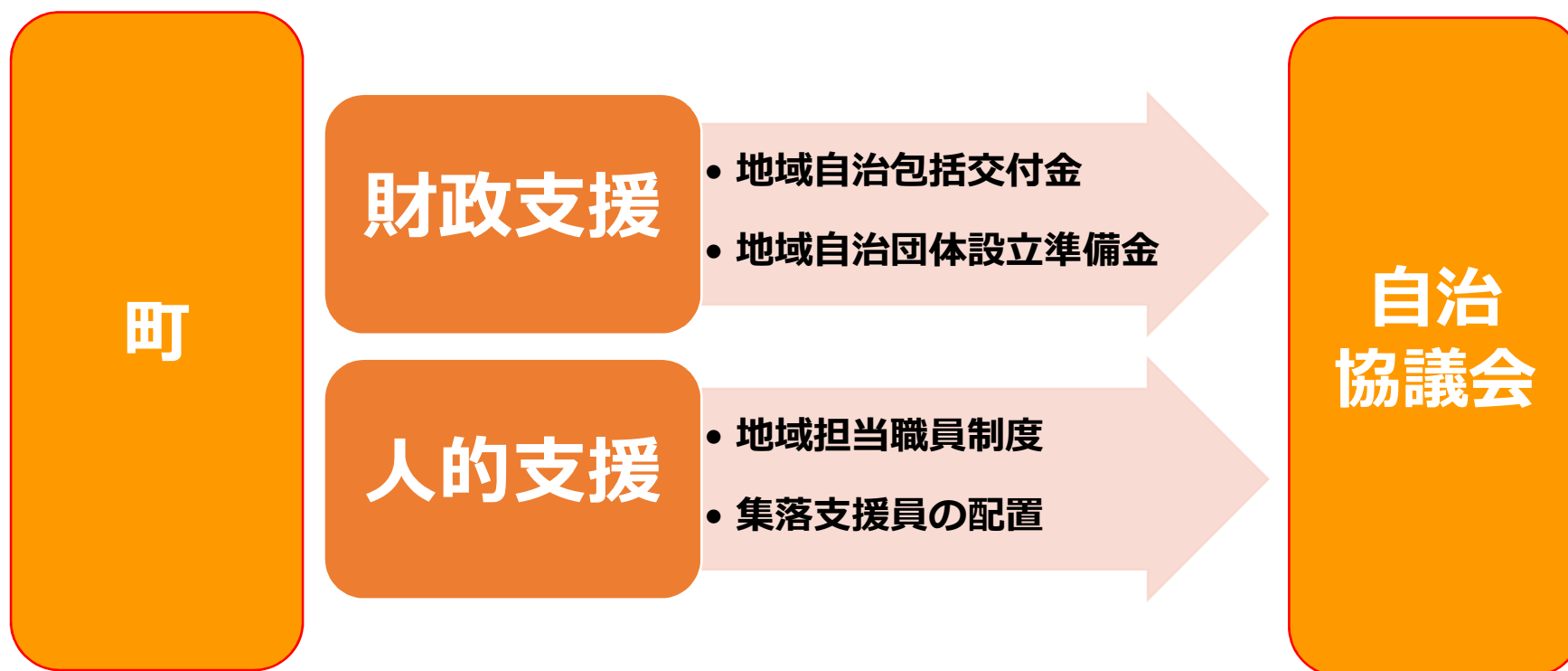


4つの地区で設立

設立地区	設立年月日
国栖地区自治協議会	H28.6.16
中荘地区自治協議会	H30.9.20
上市笑転会 (上市地区自治協議会)	H30.11.6
中竜門地区自治協議会	H31.3.22

住民自治の推進

町としても自治協議会に対し、財政的・人的支援を実施



自治協議会の活動事例（上市地区）



上市初えびすの様子

毎年恒例の上市初えびす（初市）において
上市笑転会としても様々なイベントを企画



自治協議会の活動事例（上市地区）



町の玄関口である上市地区は県外からの
来訪者との交流も盛ん

関係人口の増加

×

空き家の利活用



早稲田大学、奈良県との連携による
空き家利活用検討事業

自治協議会の活動事例（中荘地区）

初となる旧小学校区単位での
夏祭りを自治協議会が主催

これまでなかった花火の
打ち上げも実施

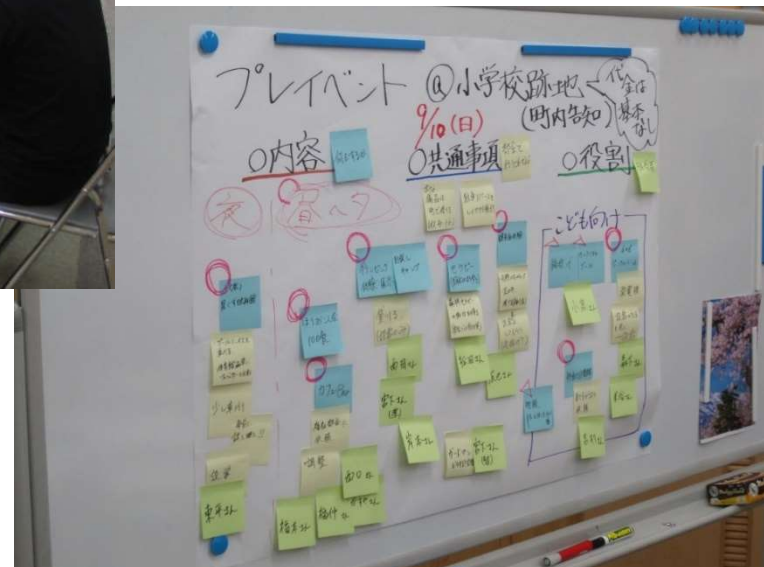


自治協議会の活動事例（国栖地区）



学校跡地の利活用について検討を重ねる

次世代を担う若手を中心に地域の将来について語り合う



これからの吉野町の取り組み

1. 小中一貫教育の推進

吉野町小中一貫教育基本方針
全体構想図

～新たなつながりの中で育む本町義務教育9年間の実践に向けて～

本町の小中一貫教育の定義

『小学校と中学校が目標を共有し、小中の教職員が一体となって、学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組み、義務教育9年間の連続性のある指導を行うことで、義務教育を終了するにふさわしい学力と社会性を育成する教育』

小中一貫教育の導入が求められる背景

- (1) 教育内容や学習活動の質的・量的充実への対応
- (2) 身体的発達の早期化等に関わる現象への対応
- (3) 生徒指導・学習指導上の問題等への対応
- (4) 社会性育成機能の強化の必要性
- (5) 学校現場の課題の複雑化・多様化
- (6) 小中一貫教育の制度化

(7)本町における必要性：
求められる義務教育9年間を
見通した質の高い教育活動

▶小中一貫教育の推進
園小接続の円滑化、小・小
連携、小・中協同授業の取組
の課題

*導入の意義：小中一貫教育を手段として、現在の取り組みを更に高める。

- 確かな学力の育成
- 豊かな人間性の育成
- たくましい心身の育成
- 多様な個性やニーズに応じた一人一人が大切にされる教育の推進
- 地域や社会とつながる「ふるさと吉野への思い」を育む教育の推進

*義務教育9年間を終える15歳の子供像

9年間の一貫した義務教育によって自らの可能性を引き出す、確かな学力・豊かな人間性・たくましい心身を備え、ふるさと吉野で育ったことを心の糧に、夢と希望を実現する志の下、自信と誇りをもって、力強く生き抜く子供

小中一貫教育実践の柱①

小・中学校の教職員、保護者、地域での「めざす子供像」の共有

小中一貫教育実践の柱②

中学校卒業までを見通した一貫した指導

小中一貫教育実践の柱③

吉野町の魅力ある豊かな教育環境づくり

小中一貫教育実践の柱④

子供同士や教職員間の交流と協働

学びをつなげる

- ・現行の教育制度(6・3制)と学習指導要領を基本に、子供たち一人一人の発達段階に応じた指導
- ・学習方法、学習習慣等定着に向けた指導・本町独自の魅力ある一貫性のある教育課程の編成
- ・ICT環境の整備と効果的な活用
- ・特別支援教育の充実

生活をつなげる

- ・9年間の学校生活での学習規律、生活規律の定着
- ・豊かな人間関係を醸成する児童生徒等の交流活動等の充実・心身の成長を実感できる仕組みづくり

9年間の学びと生活をつなげる環境づくり

- ・小中一貫教育の効果を引き出す施設環境づくり
【施設一体型小中一貫教育校整備:吉野小学校と吉野北小学校を統合し、現吉野中学校敷地内に小学校施設を増築】
小中一貫教育校開校時期:2022年(R4)年度
- ・学校、家庭、地域が一体となった豊かな教育環境づくり

これからの吉野町の取り組み

2. 小学校の跡地利活用

小中一貫教育の推進に伴い、町内の2つの小学校が廃校となる。

その後の活用方法については地域の方々と共に検討



これからの吉野町の取り組み

3. 奈良県との包括連携協定に基づく吉野山のまちづくり

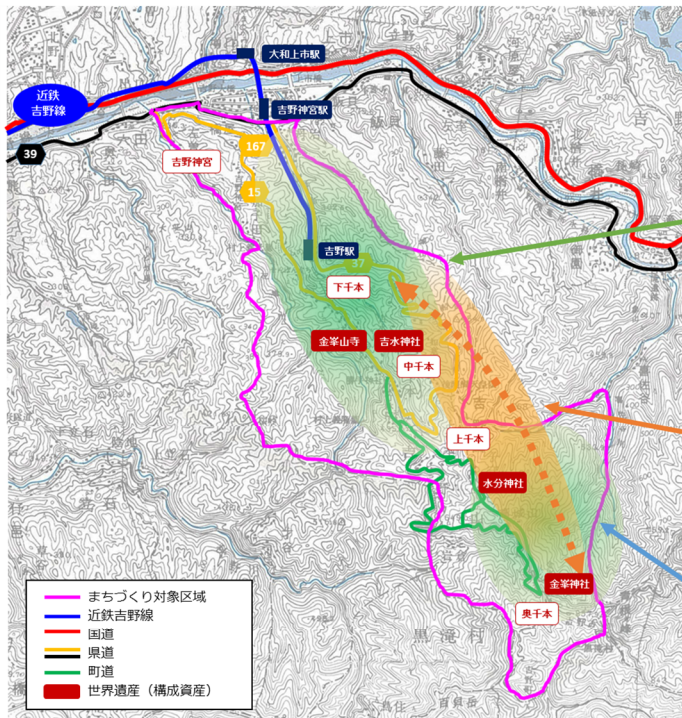
吉野山地区 まちづくりのコンセプト

信仰のまち吉野山、桜と歴史と世界遺産とともに歩み育む
 ～吉野山のかけがえのない歴史・文化財・自然環境の保全・活用による魅力向上～

まちづくりのビジョン

観光	交通	住環境
国内外から親しまれ 日本の四季を感じる吉野山	暮らす人も訪れる人も 安全で快適に移動できる吉野山	古き良き伝統を未来につなぎ誇りを持ち 快適に暮らせる吉野山

まちづくり構想図



吉野山地区のまちづくりにおいてすべての対象区域に展開する取り組み

- 1. 観光地マネジメントを推進する組織体制の構築**
 (主な取組) DMOの設立
 - 2. マーケティング・リサーチの実施・強化**
 (主な取組) ターゲットの検討・観光客のニーズ調査
 - 3. 観光受入体制の整備**
 (主な取組) 案内看板などの整備、吉野駅前の観光案内機能の強化、各店舗の販促物の対応、決済システムへの対応、歴史・文化財・自然景観の保全
 - 4. 魅力ある楽しみ方の創出**
 (主な取組) ナイトタイムの活用、滞在時間を延長する取組、着地型観光商品開発、まち全体の周遊イベントの開催、広域観光の実施
 - 5. 効果的な情報発信の展開**
 (主な取組) 歴史と桜を土台としたPR強化
-
- 1. 移動手段(二次交通手段)の検討**
 (主な取組) 吉野駅からの周遊性・アクセス向上、周遊路・索道等の整備
 - 2. 道路の安全性の向上**
 (主な取組) 生活道路・観光道路の棲み分け、景観に配慮した散策道の整備、道路環境の整備
 - 3. 観桜期の交通渋滞対策の検討**
 (主な取組) 交通管理方法の検討、郊外駐車場の整備
-
- 1. 新たな担い手の発掘・育成・定着**
 (主な取組) 事業承継・空き家対策を見据えた外部人材の受入促進、チャレンジショップの活性化、テナントリーシングの活用
 - 2. 地域コミュニティの強化**
 (主な取組) 「吉野山地区景観保全まちづくり協定」の推進、団体の整理、役割の明確化
 - 3. 生活環境対策の充実**
 (主な取組) 生活排水対策の検討

これからの吉野町の取り組み

5. 世界遺産と文化財の活用

- ・ 世界遺産は今年で登録15周年、日本遺産は今年で登録4周年
- ・ 昨年の宮滝遺跡第69次発掘調査において、大型掘立柱建物の遺構が検出される



遺跡公園整備の検討 など



平成31年3月 第70次発掘調査成果報告写真

これからの吉野町の将来像を見据える



A scenic view of a river flowing through a valley. The river is clear and blue, with white rapids in the foreground. The banks are rocky and covered with dense forest. The trees show signs of autumn, with some leaves turning yellow and orange. In the background, there are mountains and a small town. The sky is overcast.

**ご清聴
ありがとうございました。**

清流 宮滝